

アマダイ通信NO. 151

(Tile fish network letter)

2024年 陽赫く虫鳴く

知人・友人各位

物好き通信も150号を越える。10月から封書の料金が110円に値上がりし、郵送分も漸く千部を切る。メールは4千余か。郵政に営業に行っても、メールだけにした方がいいですよ！と言われるが、赤い郵便自転車を三角乗りお袋の代わりに電報配達、窓口で切手売りを手伝った「郵便局の革ちゃん」、19の春にヘルメットを被り、ルビコン川を渡った時の様に悩む。勝手に送りながら、メールをやる方で封書で本通信を受け取っている方はご連絡願いますと、お願いすることに。早馬が自転車に、更にバイク、軽トラに代わり、メールに代わって消えるのか？狼煙が電線に、無線にと変わったように、いつの日か、階級も国境も消え、戦争もなくなるのか？きっとその日が来る！パンツを履いた音痴の猿は考える。

◎列車で走る海 No.1 五能線！四季其々に美しく、好奇心と想像力育む！

7月14(日)能登震災応援、お登紀さんの母校でのチャリティコンサート。集まりが悪いからと、加藤登紀子さんのファミリーで経営する新宿のロシア料理店スガリーでご馳走に預り、通信読者にも配信。心配していたが安田講堂はほぼ満杯。シドニー大学から東大への交換留学生(言語学、2008年東大三鷹寮入寮)で日本で歌手デビュー、世界で活躍するサラ・オレインとのジョイントコンサート、更には小椋圭など東大出身の歌手揃え踏みの大団円も出来るんじゃないかと妄想する、音痴で中国語の四声の発音がわからず駒場で落第を繰り返した。いつものお登紀さんのコンサートと違い、最後の東大同窓管弦楽団との共演除きピアノか自身のギターのみ。うるさい伴奏はない方がいい。アンコールもなく流れ解散。折から授業料値上げ反対で安田講堂前には珍しくテントが張られ幟や立看も。馴染みの顔もチラホラするが二次会にはならず、家路を急ぐ。

前日の日経新聞別刷り「列車で走る夏の海1位、五能線(八森～鯉ヶ沢)…時間がたつのも忘れてしまう！」とある。四季其々に美しい五能線。20年近く前、「乗ってみたいローカル線」ランキングでは2位、今回は堂々の一位！JR東日本もこの夏五能線のキャンペーン。駅頭にが生まれ育った八峰町(旧岩館村)の夕陽に浮かぶ小入川鉄橋と津軽は深浦町の、白神の山と海の間(あわい)を走るビュートレーンのポスター。10年以上前の夏も青海原に浮かぶ小入川鉄橋のポスターがJRの駅頭を飾り、「あの鉄橋を渡ると僕の家が見える」んです！と当時の橋口副社長にお願い、額装して事務所に飾る。高所恐怖症の、断り切れず東北一高いと言われる鉄橋を何度か肝試しで渡る。列車が来ないか生きた心地もせず。

肝試しに参加するようになった頃、佐田稲子の女の一生を手にし、主人公が奉公先の主人に手込めにされ身籠り、梅干しを食べたくなる。妊娠すると酸っぱい物を食べたくなる！と知るが、お袋が脇を通ると腹這いになり畳の上で読んでいる本を慌てて隠す。小4の孫息子は読書に興味を示さないが、は早熟で少しませた小4だった。わからない言葉や漢字は飛ばし、兄姉が読み散らかした志賀直哉の暗夜行路やサガンの体の中を風が吹くなど、好奇心の趣くまま手当たり次第読む。それまでは偉人伝や海底二万マイル、アムンゼン、スコットなどの冒険譚、怪人二十面相などの乱歩に夢中だった。読み進むと周りの状況から意味や読みまで類推し理解、読解力がつく、誰にも教わらず！好奇心と想像力に勝る先生なし！

◎故郷白神素潜りツアー、サザエ大漁も口に入らず！プラン77失敗

娘と孫息子を連れ、秋田まで新幹線、その先はレンタカーを借り、久し振り、コロナで中断の故郷白神素潜りツアー。8月9日（金）は秋田の最果て隣部落は青森の、岩館の実家に泊まる。明治の創業から続く「家業」の4代目の郵便局長を卒業した、三兄憲三の趣味の銘木三昧、苔生す庭付きの平家の20cm厚はあるか？大きな桂？の一枚板のテーブルの上、懐かしい茸と山菜、地魚を当てにビールと缶酎ハイで沈没。商船大（現海洋大）にチャレンジするも失敗、素直に？家業を継ぎ、趣味の山仕事や畑仕事にも勤しみ、故郷で悠々自適の兄。親に逆らい上京・浪人、人も羨む？T大法学部に入るはいいが、権力にも逆らい大学に11年の長逗留。臭い飯も7度、遂には中野刑務所の独房でただ飯を69年末から足掛け3年食べる羽目に。30歳で大学を終えるも定職につかず流浪。天ぷら学生のお陰の広いネットワークを頼りに、50歳過ぎて営業顧問業で独立。低年金を補うため77歳の今も老後レスで働く末弟。人生色々、分厚い天然杉の天井、鮎色の節をじっと見る。

10日は八森の三セクハタハタ館泊まり。10、11日と岩館の村外れの海兵プール、馴染みの県境近くの磯で年齢は同じだが小4の孫息子と秋田に住む妹の小3の孫娘と素潜り。最初はウミウシを捕まえ喜ぶが、指導宜しきを得？サザエが思いの外沢山採れ、小さいバケツ一杯の大漁。アワビは見つからないが初めての狩猟採集、縄文人の血を引く？我が末裔達は大興奮。人生のエポック、一生の思い出。チビサザエは大きくなれ！と放流。石をコの字に組み竈作り、集めた小枝や流木の下に敷いた新聞に火を付け、大鍋が煮立つ。周りにサザエを並べサバイバル術の伝授。昔帰省の娘や息子、孫など一族郎党総出、ナスや玉ねぎ、ジャガイモなどの野菜と味噌、おにぎりを持ち、鮑やサザエ、アイナメなどの魚貝は素潜りで現地調達、賑やかな具沢山の鍋を囲んでお昼。サイダーやラムネなどの飲み物は湧き水を溜め冷やし、冷えたトマト、キュウリがデザート。締めは孫やひ孫が主役のすいか割り。

郵便局の家のお盆休みのファミリーイベント宜しく、ツボ焼き完成かという時に、3名の「密漁取締官」が現れ、生まれて初めて「密漁」で「現行犯逮捕」。残念ながらサザエは口に入らず。悪法も法か？レジャーではなく「業」としての密漁を取締るべき。素人を犯罪人に仕立てるのではなく、アワビ・サザエ漁を解禁、入漁料を取り一般人と漁師の共存を計るべきと持論を展開。調書を取られるも署名を求められることもなく、無罪放免。老後を刑務所という名の介護付き国立無料老人ホームで、家賃ただ、医療費、介護費用ゼロ、再びタダ飯を食って人生を終える、かつて国家転覆を志した男が一瞬期待した、低年金老後レス老人の、プラン77も残念ながら失敗。

台風で12日は素潜り止め、秋田でプール。男鹿温泉のホテルに泊まる。夕食にサザエのツボ焼き、随分小さい、孫達と採ったサザエより小さい。同じ膳に小さなハタハタの干物。サザエもハタハタも、こんな親泣かせの小さな物を採って、売り物にしていいのか？ただ採ること、目の前にある物を捕まえて売ることしか考えない漁師でいいのか？漁業権の下で魚や貝も漁獲が細るだけ。水産庁によると2022年の養殖を含む日本の漁獲量はピークの1984年の3分の1、世界の漁獲量は同じ期間で2倍以上。権利には義務が伴う。国民に対する魚貝の供給義務を果たすどころか、資源を枯渇させるだけの現行の漁業は根本から考え直すべき。魚の輸出世界一、日本にもサバだ、サーモンだと輸出、石油も豊富なのに魚でも稼ぎまくるノルウェー。日本の漁師は資源を枯渇させ供給義務を果たせずすみません！と漁業権は返上、ノルウェーの管理漁業を学んで、頭を使い一からやり直したらどうか？

◎複数個所居住でリフレッシュ、交流人口を増やし、経済に活力を！

スキーシーズンが終わると隔週毎に、埼玉の小川カントリーで仲間と和気藹々、緑の絨毯を歩き通すゴルフと、房総の海辺で孤独なサイクリングと馴染みの居酒屋桜の若いマスターと素敵なママ、常連客との会話、情報交換を楽しむ。人口減少で過疎化が進み、空家対策もあり、政府は複数個所居住を勧め交流人口を増やそうとするが、子や孫にも海彦山彦の生活を味わって欲しいと●は実践済み。越後湯沢駅前のマンションには友人のスキーも預かり、77歳にして冬場毎週末新幹線日帰り手ぶらスキーと温泉、馴染みの店で美味しい蕎麦と地酒を楽しむ。鴨川は江見駅前のマンションにはスポーツサイクルを置く。夫々40平米余りの方丈の庵、コロナ後のテレワーク化で少し値上がりしてるようだが、鴨川は280万円、湯沢は400万円を買った。固定資産税、特別住民税、管理費・修繕積立金、ほぼ基本料の水光熱費で、其々年間40万円ほど。これが●の複数拠点維持のための毎年の基本費用。

天候に恵まれない独居老人の週末は遠出を諦めベーコンエッグとレーズンバターロール、ヨーグルトにジャムを落としマグカップ一杯のコーヒーの朝食。朝風呂の後、飲む必要がある？と思いつつ而降圧剤二種と糖尿の薬。コップ一杯のトマトジュース。いい加減な腕立て伏せと腹筋、スクワットを夫々30回。洗濯機回しながらゆっくりもう一杯コーヒーをすすり、朝日と日経を読む至福の時間。午後は近所のスーパーマルエツや豊洲のホームセンタービバホームなどで買い物。営業マンは情報をインプット、人間としての魅力も高めたい。徒歩や自転車月島と豊洲の図書館を梯子、目と鼻のオリンピック村跡の晴海フラッグにも図書館が出来、エコノミストなどの経済誌や世界などの総合誌も楽しむ。

一度品川の駅ビルの広い社長室で、大きなゴリラの縫ぐるみと一緒に会って頂いた、外食王小川賢太郎君（S43年東大文一入学、全共闘仲間、駒場で中退、横浜で沖仲士、82年吉野家入社、88年すき家を創業）率いるゼンショーグループが世界の売り上げ1兆円、株式時価総額1兆円を達成、世界6位の外食企業に成長したと日経新聞。勝どきのすき家、11時までの朝定で360円の卵かけ納豆ご飯をよく昼飯として食べる。同じく東大闘争を闘いながら、この違いは何だ！と思うが、これも人生、あれも人生。小川君のそれが何か？知る由もないが、夫々に至福の時間。

40過ぎてサラリーマンを始め、基礎年金と厚生年金が隔月に7万円、50歳まで働いた分の厚生年金基金も隔月に7万円、月額7万円の低年金独居老人なので老後レスで働かざるを得ないが、働いてる限りは仲間と湯沢でスキーや埼玉でのゴルフ、鴨川でのサイクリングと週末・長期休暇の複数個所居住と体育活動を楽しめる。●と違い学卒後定年まで勤め上れば厚生年金は平均月23万円、キャリア官僚で25万円ほどと聞く。子供の教育と住宅ローンも終え2、3千万円のストックを持ち、定年後も働けばその分年金も、ストックも増える。幾つまで生きるかわからず、ストックに手は付けられないとの声も聞くが、90歳まで生き、3千万円のストックを30年で使い切るとすれば年100万円は使える。その先どうするんだ？と不安かも知れないが、90歳越えたら流石スキーやゴルフ、サイクリングは無理かと思う。それらの拠点は子や孫に譲るか他に売るかして身軽に。或いは自然豊かな地方に移り住み、都会の住まいは貸し賃料をゲット、「年金」を増やす手も。近所の散歩や図書館などに活動範囲が狭まれば、使うお金も限られる。誰かの様にいつまでも海も山もと欲張らなければ、子や孫と自然と健康生活を楽しみ尊厳ある死を迎えられる。年寄りが預貯金を消費に回せば、需要が回復経済も回る。

◎働くしかない！を越えて！シニアに働く場と生き甲斐、経済に活力を！

低年金の女性の一人暮らしが増え、タイミーなどで、短時間のすき間バイトをみつけ働く高齢者が増えている。5万円でも楽しく暮らせるという本が売れたりするが、持ち家があっても満額給付で6万円くらいの国民年金だけでは食べるのもきつい。借家住まいなら猶更。厚生年金の平均需給額が23万円。子の教育も住宅ローンも終わり家があれば夫婦二人食べるには困らないが、旅行したり外食したりは難しい。年金+αの老後資金が必要。

短大を出て42年間渋谷区の学校給食の栄養士として働いた妻の年金が月18万円弱。40歳から10年間だけ企業で働いた●、国民年金と厚生年金が隔月に7万円、10年分の厚生年金基金も隔月に7万円、年金は月7万円。夫婦で毎月の年金が25万円ほど。一般家庭とは夫婦逆だが、意外と同世代の標準的な年金収入かも知れない。家があれば食べてはいけるが、ゴルフやスキー、海外旅行は無理。●は77歳の今も営業コンサルタントとして事務所を持ち働く。収入があり妻の有料老人ホームの費用全部を二人の年金収入分で賄う。他に収入がないとすると、残された自分もこの月額25万円の年金で生活しなければならない。自分が働けなくなると我が家の家計は破綻する。老後レスで働かなければならない。万が一の危機を回避する手立てはしてあるが、老後レスの収入がなければ有料老人ホームには入れず、特別養護老人ホームなどの福祉に頼り、厳しい老後を送らざるを得ない。多くの高齢者にとってゆとりある老後を送るためにも、元気な内は働いて収入を得ることが必要だ。

その手段として、スポットワークが働く者、雇う者にとっても重宝されている。コンビニでレジを打つIさん(77才)はスポットワーカーとして約100店で働き、「若い従業員や来店客との交流は楽しい。社会とのつながりが生きがい」という。単発の仕事だけに、Tドラッグはレジや品だし業務の要点を絞ってまとめたマニュアルを用意、前日までに募集をかければほぼ100%集まる。店舗運営に欠かせない救世主だという雇い主も。高齢者でも介護を必要とするのは4人に1人ほどだが、残る3人の高齢者の内何人が働いているのか？元気な高齢者が増えれば、人手不足も緩和され、高齢者の懐も豊かになり、支出が増え、需要が増えれば供給も増え、設備投資も進む。消費不足、需要不足で30年間足踏みした日本経済も回復に向かわないか？

もっとシニアに働いて貰うためには、若者と違って働いて収入を得るだけでなく、孤立しがちな高齢者が、働く者同士の横のつながり、遊びや呑み会、趣味、スポーツなどと一体になったコミュニケーションも楽しめれば、より積極的に働けないか？シニアスポットワーカーの新たなマッチングシステムを創り、社会に貢献出来ないか？ゼンショーの小川賢太郎君も自社のシステムだけで足りている訳でもないだろう。JRグループも関連会社が沢山あり、働き手を必要としていないか？URも系列の住宅管理会社、ショッピングモールの運営会社などで、シニア人材が要るのではないか？フルタイムでやる仕事を複数の要素に分解、複数のシニアが短時間で楽にできるようにならないか？シニア主体のマッチング企業を起業出来ないか？一緒に起業する人間がいらないか？低年金で生活費を補う。子や孫との外食や旅行を楽しむには働くしかない！が現実だと思うが、ただ稼ぐ、生活の足しになるだけでなく仲間が出来る、生活が楽しくなるという場作り、仕事づくりが出来ないか？そうすることで、仕事をする必要のない高齢者まで、体力気力に合わせた仕事を楽しむようになれば、働き手不足も緩和、高齢者の医療費も減少、経済も活性化しないか？

キリスト教の影響で労働を神に課せられた苦役と捉える者も多い欧米人と違い、日本人

は社会参加、自己実現だと考える方も多い。早期のハッピーリタイアを望まず、高齢での労働を必ずしも厭わない。高齢者の社会参加が進み、健康寿命が延び、生き生き社会が実現する。高齢者も働くことで、生産性と生産力が向上、豊かな社会に出来ないか？

◎妻有料老人ホームを転所。快適な睡眠サービスは老人ホームの基本でしょ？

車椅子対応の洗面・トイレ付き有料老人ホームは 15 平米前後の小さなワンルームだが、意外と引っ越し荷物が多く、一日では片がつかない。連休明けの 5 月 7 日と 10 日の 2 日、ワンボックスのリッターカールーミーをサニーライフ芝浦に走らせ、大きめの段ボール 3 個と小さめの段ボール 4 個をヒューマンサポート柏の葉にクロネコで送る。順天堂江東老人病センター退院の 11 日は、娘の大型ワンボックスオデッセイを使う。車椅子で退院の妻は 2 列目のシートに。3 列目の席を倒し、車椅子と歩行器、衣装タンス二つもどうにか運ぶ。つくばエクスプレス柏の葉駅から国道 16 号を渡ると建売住宅がぼつぼつ建つ中に新しい 3 階建ての老人ホーム。手続き書類にサイン、妻の遅い昼食に駅前のららぽーと一階の東急ストアで寿司をと思うが、同じフロアに魚屋。魚のプロの魚屋のすしがいいかと、10 カン 1980 円のすしを買って帰るとペロリ。順天堂で延命装置をどうするか？妻も交え医師と面談、「生きたい！」との意思表示以来、妻は見違えるように食欲がで、体力も回復に向かう。

娘は用事があり途中で車で帰る。お昼食へに出る序でにカントリーバームとどら焼きも買って来てと言われ、バームクーヘン食べるんだ！と思うが、東急ストアでカントリーバームでしょと言われ、それぞれ一袋ずつ買う。耳が遠くなった、こんなお菓子があるんだ！と感心して帰ると、もっと欲しいと、もう一度買い物。カントリーバームの違うバージョンも含め 5 袋、どら焼き 1 袋を買う、食欲増進の証か。ゴミ箱が欲しいというのでららぽーとの無印良品で買うが、テレビ台兼用の天板付きプラスチックタンスはなし。後日南砂のニトリで買い一人用のソファ・テーブルセットと一緒に施設に送るが、スタッフは家具の組み立てはしてくれない。休みの日に息子に施設に行き行って組み立てて貰う。

1 週間ほどして面会にいくと、ベッドのマットレスが硬くて眠れないと妻。別のマットレスに換えてもらうことに。病院で使っていたマットレスがいいと言ったようで、それに換えてくれたようだが、レンタル料が月 5 千円という。前の施設は食事が不味いというので引っ越したが今度は睡眠か？食事と睡眠は老人ホームの基本的なサービスではないか？退所するまで 5 千円払い続けるのか？買うと 12 万円だという。買ったなら最後は処分費も必要になる。基本的なサービスは基本料金中に含まれるべきで、余分には払えないと押し問答。試用期間が終わったとマットレスは回収され、一月のレンタル料 5 千円と代金 12 万円の請求。眠れない！どうにかして！と妻からは催促。安眠は施設の責務ではないか？と思いつつ、12 万円だけ振込み妻は安眠を取り戻す。

同じ有料老人ホームでも前のサニーライフと今のヒューマンサポートでは随分違う。サニーライフでは家族がすることはほとんどなく、たまに面会に行くだけ。病院通いもヘルパーさんが付き添ってくれ、必要な時に家族が同行。「姥捨て」じゃないかと気が引けるくらい。ヒューマンサポートは逆に家族が診察に同行、駄目なら施設に 10 分千円の時間給でスタッフの代行を頼む。入所者に共通のサービス以外は、原則家族が行い、無理なら時給を払ってスタッフにして貰う。子供も、後期高齢者とはいえ👵も仕事を持つ。「軽作業」のためにわざわざ遠くまで何回も足を運べないが、取敢えず妻は食事と施設の対応にはまずまず

のよう。入ったばかりの施設を家族の事情で変える訳にもいかない。急なことで、施設のサービス内容を事前にしっかり確認しなかったことを反省する。

◎なぜ習近平万歳と言わないの？わが子が密告の怖れ！

逃げるばかりが能ではない。百年前上海でそうだったように、果敢に地下組織をつくり、命懸けで長いものに闘いを挑む若者はいないのか？きつという筈。いつの時代にもそんな「馬鹿者」がいて、歴史が動く。暑い夏に背筋が冷たくなるような話だが、習近平独裁、「文化革命」の強化が進み、思想、心情の自由は失われ、生活は窮屈に。まるで治安維持法下の戦前の日本のよう。自国の未来に希望を感じられなくなった国民が、母国を捨て海外に移住するのが増えている。富裕層は欧米に移住するのが主だったが、日本への移住も増える。彼等が東京湾岸のマンションを買い続ければ、都心部のマンションは値上がりを続け、若者の住みづらい東京になる、日本の若者の生活にも影響を与える。富裕層は豊かな資産を携え合法的に移住するが、資産を持たない一般国民は、他の中南米からの不法入国者と同じように、なけなしの金を業者に払い、アメリカへの不法入国を試みる。のんびりしていると、子供から、お父さんはなぜ習近平万歳！と言わないの？と告発されかねない恐ろしい世の中になる。どこかの国も🍄が産まれる少し前までそうだった。油断大敵。

🍄さん、お久しぶりです。お元気ですか。こちらは相変わらずです。この間に、日本に帰る覚悟が次第に固まってきました。私としては、ここにいるのが1番のびのびと過ごしやすいのですが、子供の教育を考えると、どうしてもここで子供に教育を受けさせる気にはなりません。ここで通わせると、息子がいじめに会う事はほぼ固いと周りから言われています。いじめを受けないために苗字と名前を中国人風に改名して、日本国籍を捨てるようにと何人もの方からアドバイスを受けました。そこまでしてここで教育を受けさせたくありません。幼稚園時代から洗脳が始まるようになったので、5歳にもなると口をついて、日本を侮辱する言葉がすらすらと出てくるようになるようです。その他にも両親を密告するような教育も行われ始めているようで、VPNを使って海外の情報を得ているだけで、スパイとして実の息子に密告されかねません。

とにかく、私と息子だけでも日本に行きたいと思っています。仕事はとりあえず無職で今までの蓄えで生活しようと思います。仕事が見つかってから日本に戻ろうと考えていたけれど、そうするといつになるかもわからないし、どこになるかもわからないので、計画が全く立てられないからです。妻は2人とも無職になって外国に行くと言うのは抵抗があるようなので、無理をして無職にさせる事はせず、彼女の自由意志に任せることにしました。離れて住むことになるのか、3人で日本に移るのかはまだわからないところです。

40を過ぎた妻が身ごもりました。家族親戚で話し合い、残念ながら下ろすという判断に至りました。今1歳半になる息子の世話も大変なのに、さらにもう1人面倒を見ると言うのは、公的な援助も預かってくれるところもない。中国では子供の面倒を見るのに、人を雇わざるを得ず、既に毎月息子の面倒を見てくれる人を雇っているだけで、20万円以上かかっています。その他、諸々の教育費とかはとても経済的に負担できません。大学の教員と公務員と言う中国ではかなり恵まれた方のカップルでさえこんな状況です。中国の少子化は崖から落ちるように進んでいるのですが、むべなるかなと言う思いです。私たちの場合は、経済的な問題などに加えて、超高齢出産になると言う母体への負担も考慮しました。

最近の中国では、絶不況で恐慌と言った方が良いレベルに入ってきています。どこに行ってもガラガラなのに、病院だけは押すな押すなの人ばかりです。やはりどんなにお金があっても病気だけはしっかりとするようです。子供の墮胎手術の人は、子供を出産する人と比較にならない位多い。一人っ子政策を転換し、二人以上産んでいいと人口の自然増を目指す中国共産党ですが、出生率は低下し、人口は自然減に転じる。

異国で苦悩する後輩に、何もしてやれないのは歯がゆいが、今中国では大学新卒者の公称失業率は20%だが、一般には40%以上と言われ、住宅価格も高騰、若者が結婚し家庭をつくるのは日本以上に難しい。そして子供をつくっても保育所に入れず、ベビーシッターを雇わざるを得ない。このままでは中国の少子化・高齢化は日本以上のスピードで進まざるを得ない。働き手の減少と市場の縮小で当然経済は減速する。習近平独裁の強化、国進民退(国営企業の躍進、民間企業の後退)、早過ぎる共富論(富の再分配による格差解消、文化大革命)による市場経済の後退、創意工夫の減退による生産性の減少がそれに拍車を掛け、中国経済の不振は長期化しそうだ。利に敏感なグローバル資本はインドに殺到する。掌を返す様に。

◎東大授業料値上げ反対！と日本の針路


表現の自由が曲りなりにもある日本では、保育所待機児童急増が先ず社会問題、政治問題になり、民間も参入、待機児童ゼロはほぼ達成。次に小一の壁が問題となり、学童クラブに預けられない、安心して親が働けないことが問題に。ベネッセなどの民間企業が学童クラブの経営にも参入、晩御飯を食べさせ、遅くまで面倒をみる学習塾も出現、晩御飯を給食して、7時くらいまで子供の面倒をみる小学校が人気になったりする。需要に直ぐ対応するのが市場経済のいいところだが、金がかかり、格差を拡大させるのは困った性。

保育所と学童クラブの待機児童問題が解消、安心して子供を産み、育てられるようになって、住宅の狭さ、高さ、教育に金がかかることが、結婚をためらわせ、二人目、三人目の出産に二の足を踏ませ、少子化が止まらない。日本では住宅政策が持ち家に傾き、マンション価格が高騰、公的賃貸住宅の供給がドンドン少なくなり、賃貸住宅への公的補助も少ない。東大の授業料値上げに象徴されるように、教育に金がかかることも、少子化に拍車をかける。大陸ヨーロッパや北欧は初等・中等教育だけでなく、大学教育も無償が普通だ。教育は個人への投資ではなく、社会的投資なのだ。教育レベル、学術研究レベルが上がることで生産性も向上、豊かな社会が実現する。年金なども充実し豊かな老後を送れる。


中曽根から始まり小泉・竹中が鞭を入れ、安倍で頂点に達した自民党の新自由主義政策の下、非正規雇用の拡大、若者の貧困化・格差の拡大も進んだ。社会政策としての住宅政策の不在と若者の貧窮化が結婚出来ない若者を大量に生み出し、住まいと教育に金がかかるので、子育て政策を充実させても少子化、人口減少は止まることを知らない。少子化を止めるには子育て政策を充実させるだけでなく若者が結婚し家庭を持てる、子育て出来るだけの所得と住まいを用意、高等教育まで無償化、教育に金がかからないようにする必要がある。

安倍から岸田に代わり、「新しい資本主義」を標榜、中曽根以来の剥き出しの資本主義、競争優位の新自由主義を見直すのか？との期待もあったが、腰砕けに。少子高齢化、人口減少の問題は、まさに英米流の新自由主義から、北欧・大陸ヨーロッパ流、福祉重視の「社会資本主義」の道に舵を切り、進化させるのかの問題でもある。日本の政権党自民党総裁選びが本格化、衆議院議員選挙も間近か。単なる顔のすげ替えでごまかされてはいけない！



◎第 21 回 味は文化です！イタリアン (2024. 06. 03)

新開拓の新宿 3 丁目のイタリアンの店で、飲み食べ放題。参加者は橋内日向未 (2024・文Ⅲ・高卒認定)、古澤尚樹 (2024・理Ⅰ・久留米大学附設)、山腰柗真 (2024・(京都大学 経済学部) 大学院経済学研究科・北野)、大内颯人 (2023・文Ⅰ・甲陽学院)、岳駿輔 (2023・文Ⅱ・福大大濠)、田中悠飛 (2023・理Ⅰ・洛北)、村松泰知 (2020・文Ⅲ 文学部哲学科・甲府南)、旭博佑 (2019・理Ⅰ 工学部精密工学科・久留米大学附設)、Dhruv Iyer (2019・理Ⅰ 工学部機械情報工学科・ムンバイ)、小林義信 (2016・理Ⅱ 農学部フィールド科学・水戸第一)、園田夢之介 (2015・文Ⅲ 教養学部学際科学科・北海道帯広柏葉)、 (1966・文Ⅰ 法学部・能代)、吉川仁 (1966・理Ⅰ 工学部都市工学科・諏訪清陵)。


◎第 22 回 味は文化です！宝寿司 (2024. 06. 19)

インドツアーの旅仲間、マスターと女将は店を畳んで、老人ホームに。参加者は今野怜緒 (2024・理Ⅱ・江戸川学園取手)、奈木麻里亜 (2024・文Ⅲ・城南)、大内颯人、岳駿輔、田中悠飛、田仲佑将 (2023・文Ⅱ・大分上野丘)、村松泰知、柴田卓巳 (2016・文Ⅲ 教養学部学際科学科 (地理・空間コース) 大学院総合文化研究科 (人文地理分野)・東葛飾)、。


◎東大三鷹クラブ世話人会 (2024. 06. 23)

事務所では会議の後、近く中華料理屋で飲み食べ放題。参加者は橋内日向未、岳駿輔 (懇親会のみ)、桑原秀彰 (2020・文Ⅰ 法学部・札幌南)、横字史年 (2015・文Ⅲ・岡崎)、西沢文孝 (1995)、松沢陽一 (1968・理Ⅰ 工学部航空学科・高岡)、飯田徳松 (1966・文Ⅲ 農学部農業経済学科・上野)、、打林國雄 (1965・理Ⅰ 工学部都市工学科・富山中部)、辰紘 (1965・文Ⅰ 教養学部教養学科国際関係論・三国丘)。オンライン参加者は小林義信。


◎第 23 回 味は文化です！中華料理編 (2024. 06. 29)

参加者は橋内日向未、大内颯人、岳駿輔、田仲佑将、日野彰大 (2023・理Ⅰ・高松)、桑原秀彰、横字史年、。


◎国立劇場歌舞伎観劇会 (2024. 07. 20)

調布のグリーンホールで観劇の後、近くの居酒屋で懇親、参加者は今野怜緒、奈木麻里亜、八野圭晃 (2016・理Ⅱ 農学部生命化学工学・灘)、西沢文孝、杉本光隆 (1976・理Ⅰ 工学部土木工学科・東京教育大学附属)、杉本恭子、、辰紘、辰洋子、安孫子光子 他 1 名。

◎第 24 回 味は文化です！味噌煮込みうどん編 (2024. 07. 31)

岡崎高校出身の東大 0B がオーナーシェフ、本郷「味噌煮込巽」で、参加者は野尻俊弘 (2024・文Ⅰ・奈良女子大学附属中等教育)、大内颯人、岳駿輔、杉山生成 (2023・理Ⅲ・岐阜北)、田中悠飛、中川隼 (2023・理Ⅰ・高卒認定)、日野彰大、小原佳悟 (2022・理Ⅰ 工学部化学システム工学科・札幌第一)、柴田卓巳、横字史年、園田夢之介、飯田徳松、。

◎春風亭昇吉独演会 (2024. 08. 07、渋谷宇田川文化ホール)

打上げ後居酒屋で懇親。参加者は藤條玉葉 (2023・文Ⅱ・鹿児島純心女子)、柴田卓巳、園田夢之介、西沢文孝、杉本光隆、、辰紘、北修爾 (1962・文Ⅱ 経済学部・豊中)。

◎出でよ！うつけ者！（結びに代えて）

20 年入寮の桑原秀彰君達が、東大学費値上げ反対の声を上げ、久し振り安田講堂前にテントが出来、幟や立看が立つ。鋳型にはめられ、角が取れた秀才ばかりでは、世の中は変わらない。空け者が必要だ。戦前の日本にもいた。隣国でも、今の日本でもきつという。再見！